

通信型研修 各講座の内容

学級経営・教育相談

| | | | |
|--|---|------|------|
| G201 不登校の理解と対応 ～基礎編～ | | 研修時間 | 約30分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 不登校の実態を理解する。 不登校の形成要因と維持要因について理解する。 不登校の段階に応じた対応の具体例を知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不登校の実態、形成要因と維持要因について ・ 不登校の初期対応について ・ 不登校の中期から後期の対応について | | |
| G202 思春期・青年期の理解 | | 研修時間 | 約30分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 思春期・青年期の基本的な特徴と課題を理解する。 事例とその対応を知ることで、教育相談の対応力を向上させる。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 思春期・青年期の定義 ・ 思春期・青年期の変化と混乱について ・ 事例を通して、対応の具体的なイメージを形成する | | |
| G203 保護者との関係づくり ～ともに子どもを育てるために～ | | 研修時間 | 約50分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 保護者とのトラブルの未然防止についてのスキルを知る。 保護者とのトラブルの初期対応の実際を理解する。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者との関係づくりが必要な理由 ・ 保護者の要求を段階別に理解する ・ 日々子どもへの指導と保護者との信頼関係の関連 ・ トラブルの初期対応の実際 ・ 教師間で連携した対応の重要性 | | |
| G211 学級づくりシリーズⅠ ～学級づくりのストーリーを知る～ | | 研修時間 | 約40分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 日本の学校における学級経営の特徴を理解する。 教師と子どもの信頼関係を作る指導や子ども同士のつながりを作る。 しかけの具体例を知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「学級づくり」の4つのパーツ ・ 学級の“荒れ”を防ぐ ・ 「縦糸」を作る指導と「横糸」を作るしかけ | | |
| G212 学級づくりシリーズⅡ ～基盤づくりの実際を学ぶ～ | | 研修時間 | 約30分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 子どもとの信頼関係を作るためのほめ方や叱り方を知る。 子ども同士のつながりを作るソーシャルスキルの指導法が分かる。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 「縦糸」を作る2本のアンテナ（「ほめる」編、「叱る」編） ・ 「横糸」を作るしかけ（概論編、授業編、留意点&定着編） | | |
| G213 学級づくりシリーズⅢ ～誰にでもできる4月からのストーリー～ | | 研修時間 | 約60分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 4月からの学級経営の実際を知る。 学級と授業のルールを作り、システム化するスキルを知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と子どもの出会いを演出するスキル ・ 学級のルールを作り、システム化するスキル ・ 子ども同士の出会いを演出するスキル | | |

| | | | |
|---|---|------|------|
| G214 学級づくりシリーズⅣ ～ユニバーサルデザイン教育の基礎～ | | 研修時間 | 約40分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | ユニバーサルデザイン教育の3つの分野を理解する。 環境のユニバーサルデザイン化の留意点と具体例を知る。 人間関係のユニバーサルデザイン化の留意点を知る。 発達障がいについての理解と対応、周囲の子のタイプの理解と対応を理解する。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン教育の重要性と諸段階について ・教室環境をユニバーサルデザイン化する手法について ・発達障がいの子と、周囲の子も含めた学級づくりに役立つ人間関係のユニバーサルデザイン化について | | |
| G215 学級づくりシリーズⅤ ～エンカウンターで学級の横糸を育てる～ | | 研修時間 | 約40分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 構成的グループエンカウンターが教育に有効な理由を知る。 構成的グループエンカウンターの理論を理解する。 時期とタイプに応じた構成的グループエンカウンターの実際を理解する。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学級づくりにエンカウンターが有効な理由について ・構成的グループエンカウンターの構造について ・学級の初期に使えるエンカウンターについて ・学級のルール作りに使えるエンカウンターについて ・中期以降に使えるエンカウンターについて | | |
| G216 Q-Uの基礎 ～学級の“今”を知る～ | | 研修時間 | 約50分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | Q-Uのデータの基礎的な読み取り方を理解する。 Q-Uから学級集団の状態を判断するポイントを知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・Q-Uから分かること ・Q-Uから分かる4つのタイプの子どもたち ・Q-Uからみる学級集団の6つの型 | | |
| G217 アセスを使った児童・生徒理解 ～アセスの使い方・活かし方～ | | 研修時間 | 約35分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 学校適応感尺度(アセス)の使い方と活かし方を知る。 アセスを使ってよりの確な児童生徒理解を図る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・問題行動と学校適応感 ・学校適応感の構造 ・アセスの特徴、実施の仕方、読み取り方 | | |
| G221 アサーションで自分も相手も大切に作る心育てる | | 研修時間 | 約35分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | アサーションが学校教育に有効である背景を理解する。 アサーションの定義と目指す自己表現の方法を理解する。 アサーションを取り入れた授業の具体例を知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・アサーションが必要な現代の子どもたちの実態について ・アサーションの定義と目指すべき3つの自己表現について ・アサーションを取り入れた授業の展開例を学ぶ | | |
| G222 学級づくりに役立つソーシャルスキル教育 ～子どもたちにつけたいソーシャルスキル～ | | 研修時間 | 約35分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | ソーシャルスキルトレーニングの理論を学び、学級で、学年で、学校で活用できるミニゲームやトレーニング法を学ぶ。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルスキルトレーニングとは ・効果的な授業の進め方 ・実践！ソーシャルスキルトレーニング | | |

| | | | |
|---|--|------|------|
| G223 今すぐ使えるミニ活動集 ～福井県版ポジティブ教育プログラムより～ | | 研修時間 | 約25分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | 人とのかかわり方のコツを学ぶための演習とその進め方を知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・演習の進め方 ・ミニゲーム「質問じゃんけん」、「餃子じゃんけん」、「どちらを選ぶ？」 ・ピア・サポート活動「〇〇さんのよいところ」、「秘密の友達」、「強みカード」 | | |
| G224 子どもたちの人間関係を豊かにする！ ～ピア・サポート実践編～ | | 研修時間 | 約60分 |
| | | 主な対象 | 第1S |
| 目標 | ピア・サポートについての理解を図る。 ピア・サポートにチャレンジできる見通しをもつ。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピア・サポートが果たす役割と可能性、理論、構造 ・ピア・サポートトレーニングの実際①～⑤ ・プランニングからスーパービジョンまで | | |
| G225 福井県版ポジティブ教育プログラム ～持続可能な幸福を育む学校づくりを目指して～ | | 研修時間 | 約40分 |
| | | 主な対象 | 第2S |
| | | 授業動画 | あり |
| 目標 | 福井県版ポジティブ教育プログラムについて理解する。 児童生徒に「幸福を自ら創り出すための資質・能力」を育むための方法を知り、プログラムを実践する見通しをもつ。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポジティブ教育の必要性とプログラム概要 ・レジリエンス教育の概要と授業例 ・持続可能な幸福を育む学校づくりの具体的な実践例 | | |
| G229 立ち止まって振り返ろう！人権教育 | | 研修時間 | 約25分 |
| | | 主な対象 | 全 |
| 目標 | 児童・生徒との接し方を振り返り、人権尊重の精神にたった授業、学級、学校づくりに対する意識を高める。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権的な課題を正しく理解するために ・人権について共に考えていくために ・児童・生徒が安心して過ごせるように | | |
| G231 望ましい合理的配慮と支援体制づくり ～通常学級の中で発達障害のある児童生徒への対応～ | | 研修時間 | 約30分 |
| | | 主な対象 | 第2S |
| 目標 | 合理的配慮の基礎知識を理解する。 学級や学校全体での合理的配慮と支援体制づくりについて理解する。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・気になる子の理解 ・合理的配慮とユニバーサルデザイン ・学校現場での進め方 | | |
| G232 実践から学ぶ特別支援教育 ～研究発表会の事例より～ | | 研修時間 | 約50分 |
| | | 主な対象 | 第2S |
| 目標 | 支援を要する子どもに対して取り組んでいる実践を知り、指導の一層の充実を図る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・学びにくさを抱えた子どもたちへの段階的な支援の在り方（小学校） ・通常学級に在籍する、特別支援が必要な生徒への支援の充実（中学校） | | |
| G233 教育相談におけるチーム学校と外部人材の活用 | | 研修時間 | 約45分 |
| | | 主な対象 | 第2S |
| 目標 | 「チーム学校」として教育相談体制について理解する。 チームで行う効率的・機能的な教育相談の方法を知る。 | | |
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・チーム学校とは ・教育相談コーディネーターの役割 ・「チーム学校」で取り組む相談事例 | | |